

< 1 > 2018年度 事業報告

1 妊娠期から乳幼児期の「親そだち」支援事業

1. 1 子育てひろば「みつばちっこ」

0～1歳児を中心とした乳幼児の親子を対象に、市川市内の公民館など5ヶ所で月1回開催し、15年目を迎えた。9月から本行徳みつばちっこがてるぼサロンに認定された。これでみつばちっこ5ヶ所すべてが、数年来の課題だった市川市社会福祉協議会のてるぼサロンとなった。地域ケア推進会議やてるぼサロンまつりに参加し、地域の方との交流を図ることができた。てるぼサロン活動支援講座では、サロン活動の意義やあり方を確認することができた。

みつばちっこ担当者会議を2回開き、参加者アンケートの実施やてるぼサロン助成金の有効な使い方などを検討した。1～2月に実施したアンケートによると、昨年同様に、みつばちっこが地域を知り子どもの成長を振り返り、子どもとの生活に見通しを持てる場となっていることがわかる。要望が多く懸案となっている開催回数については、今後各所で年に2回程度開催を増やしたい。

産後なるべく早い時期に広く乳児親子に情報が届くように、今後も社協や自治会、保健センターとの連携を密にしていきたい。

- 担当者会議：10/16(火)、2/19(火)
- 12/ 1(土) てるぼサロンまつり(勤労福祉センター) 参加3名
2/10(土) てるぼサロン活動支援講座(男女共同参画センター) 参加3名
- 市川市家族の週間：11月のみつばちっこ全日程を、家族の週間広報に掲載した。
- いちかわっこWEBへの情報提供：各みつばちっこの予定をいちかわっこWEBへ掲載した。

<<参加組数>> * () は内数で新規参加者

	信篤地区	菅野地区	本行徳地区	新井地区	鬼高地区	全地区
4月	8(2)	3(2)	8(7)	8(1)	9(7)	36(19)
5月	2(0)	3(1)	7(6)	8(1)	10(4)	30(12)
6月	10(6)	2(1)	3(1)	5(4)	11(2)	31(14)
7月	9(3)	4(3)	3(1)	6(1)	6(0)	28(8)
8月	9(1)	5(1)	休	休	4(1)	18(3)
9月	4(2)	3(1)	1(1)	4(1)	11(4)	23(9)
10月	14(6)	6(2)	5(2)	4(3)	6(2)	35(15)
11月	6(2)	5(2)	4(3)	2(0)	8(4)	25(11)
12月	7(3)	5(0)	14(9)	10(6)	11(4)	47(22)
1月	8(3)	5(1)	5(2)	4(2)	10(1)	32(9)
2月	4(1)	6(1)	7(5)	7(2)	13(2)	37(11)
3月	4(2)	8(4)	1(0)	4(0)	14(1)	31(7)
合計	85(31)	55(19)	58(37)	62(21)	113(32)	373(140)
月平均	7.1(2.6)	4.6(1.6)	5.3(3.4)	5.6(1.9)	9.4(2.6)	
2017年度	6.4(1.8)	8.3(2.0)	5.2(3.0)	10.4(2.8)	9.8(3.4)	
2016年度	7.9(3.3)	9.4(4.3)	3.2(1.3)	5.4(1.9)	10.4(3.4)	
2015年度	3.2(1.5)	6.7(2.6)	4.0(1.5)	8.4(2.6)	6.2(1.8)	
2014年度	9.8(2.0)	9.5(3.1)	2.1(1.0)	5.7(1.5)	8.3(2.0)	
2013年度	8.2(2.4)	8.1(2.3)	5.9(2.2)	10.1(3.9)	11.2(3.0)	
2012年度	9.3(3.8)	8.9(3.7)	4.0(2.4)	7.1(2.0)	10.2(2.9)	
2011年度	8.8(2.9)	5.8(3.4)	3.3(1.3)	9.2(2.1)	15.0(4.5)	
2010年度	8.1(3.8)	4.3(1.4)	4.8(1.8)	10.1(3.5)	—	

《信篤地区》 信篤公民館 主担当：藤城・徳安

信篤こども館の掲示板や赤ちゃん訪問等でちらしを見た新規の参加が毎月あり、継続した参加も多い。先輩親子としてお手伝いしている2歳児親子の協力で、参加者が相談しやすく赤ちゃん達も自由に過ごしていた。後期は地域のボランティアの方が加わり、様々な年代が集まる場となった。

信篤・二俣地域ケアシステム推進連絡会に参加した。

《菅野地区》 菅野公民館 主担当：井上・花蜜・手塚

今年度は以前に比べ参加者があまり多くないという傾向が見られたが、てるぼサロンとしての居場所となっている。参加者は一杯のお茶でも楽しくおしゃべりや情報交換をした。またお父さんの参加が3組あった。

昨年に続き公民館主催講座10/18(木)「ママと一緒に広場で遊ぼう ～わらべうたで遊んだり何でも話して交流しましょう～」を担当した。講師1名とスタッフ2名、参加者16組で開催し、天気もよく外遊びでシャボン玉などもできた。

菅野・須和田地域ケアシステム推進連絡会に参加した。

《本行徳地区》 本行徳公民館 主担当：川城・三宅

9月からてるぼサロンに認定され、自治会との繋がりができはじめた。妙典地域子育て支援センターやファミリー・サポート・センター、こども館へのちらし配布の他、自治会掲示板のポスターを見た夫の薦めで参加した方もあった。地域のボランティアの方の参加があり、顔見知りが増え参加者に笑顔が広がった。参加数はばらつきがあり、遠方からの参加や1時間遅れでの参加もあった。参加者同士、様々な経験談など話がすすむ姿がよくみられた。

10/13(土)行徳ふれあい祭り(塩焼小学校)に2名が参加した。

行徳地域ケアシステム推進連絡会に参加した。

《新井地区》 新井自治会館 主担当：櫻井・川俣

年度始めは転出や復職などで参加者が少なかったが、口コミやちらしの効果で参加者が増えた。今年度は仕事を減らし、ゆっくりお話しができる場づくりを心がけた。第2子ママの参加もあり、幼稚園に入園した上のお子さんの困りごとなども話せる場となっている。子育てのことに限らず、地域情報などいろいろ聞きたいことがあがり、様々な情報に発展してママ同士気軽に話せる雰囲気になっている。

《鬼高地区》 鬼高公民館 主担当：内山・藤城

転出入が多い地域で、自治会の掲示板のちらしや口コミをきっかけに参加する親子や、赤ちゃん訪問で勧められて生後2~3ヶ月から参加する親子が増えた。第2子のママから保育園情報を聞いた、離乳食や便秘のことなど話したりしている。

市川市立第六中学校1/28(月)いのちの教育講演会、2/4(月)ふれあい体験に、積極的に協力を引き受ける親子が多かったが、昨年に引き続きインフルエンザの流行のため中止となった。

1. 2 親子つどいの広場（市川市委託）

（１） 広場の運営

		新井親子つどいの広場	八幡親子つどいの広場
1	開設日	月曜日～土曜日（週6日） 祝日、年末年始（12/28～1/4）を除く	
2	開設時間	10:00～16:00	
3	職員配置 *リーダー	9名 寺内*、川俣、徳安、森元、川城、櫻井、森、三宅、笹本	10名 花蜜*、内山、井上、藤城、塩路、宇野、水口、小林、渡部、手塚
4	ボランティアスタッフ	4名	6名
5	施設場所	市川市新井三丁目31番1号 新井地域ふれあい館内	市川市八幡四丁目2番1号 市川市役所八幡分庁舎1階

（２） 利用者数

《新井親子つどいの広場》

2018 年 度	開所 日数	登録組数		利用組数		利用者数							業務	
		市内	市外	合計	1 日 平均	大人	子ども	合計	双子	父	祖父	祖母	相談	情報 提供
		組	組	組	組	人	人	人	組	人	人	人	件	件
4 月	24	22	5	497	20.7	507	568	1,075	7	15	0	20	22	7
5 月	24	19	6	480	20.0	498	543	1,041	6	8	1	17	21	14
6 月	25	31	1	568	21.8	584	671	1,255	8	24	0	2	24	14
7 月	26	21	1	567	22.7	592	686	1,278	6	23	2	3	21	4
8 月	25	23	4	635	24.4	660	750	1,410	13	24	14	6	21	11
9 月	23	13	0	538	23.4	553	651	1,204	10	27	1	4	17	8
10 月	26	20	5	630	25.2	642	744	1,386	10	18	0	3	21	8
11 月	23	27	0	509	21.2	528	611	1,139	11	25	0	4	15	19
12 月	23	16	2	463	21.0	474	575	1,049	6	14	0	2	19	8
1 月	23	16	8	447	20.3	458	541	999	4	18	0	0	14	4
2 月	23	9	0	457	19.9	471	553	1,024	3	20	1	2	18	14
3 月	25	22	3	539	20.7	551	699	1,250	9	16	0	2	25	7
合計	290	239	35	6,330		6,518	7,592	14,110	93	232	19	65	238	118
月平均	24.1	19.9	2.9	527.5		543.1	632.6	1175.8	7.8	19.3	1.6	5.4	19.8	9.8
日平均				21.8				48.7						
2017	291	240	41	6,761		6,892	8,296	15,188	152	143	2	56	256	150
2016	291	266	44	7,106		7,185	8,483	15,668	113	100	0	31	267	128
2015	292	282	17	6,947		7,074	8,389	15,463	13	172	1	22	267	133
2014	293	217	63	6,623		6,766	5,711	14,277	22	162	3	39	190	99
2013	292	270	36	7,289		7,401	8,355	15,756	94	135	4	63	256	93
2012	292	243	31	6,173		6,241	7,345	13,586	163	62	16	32	368	126
2011	293	270	26	6,869		6,937	8,067	15,004	84	90	2	55		
2010	285	264	31	6,741		6,825	7,661	14,486	1	96	1	34		
2009	289	252	29	7,062		7,130	8,087	15,217	8	92	1	25		
2008	293	350	45	7,176		7,265	8,095	15,360	55	93	2	92		

《八幡親子つどいの広場》

2018 年 度	開所 日数	登録組数		利用組数		利用者数							業務	
		市内	市外	合計	1 日 平均	大人	子ども	合計	双子	父	祖父	祖母	相談	情報 提供
		組	組	組	組	人	人	人	組	人	人	人	件	件
4 月	24	48	0	791	33.0	818	923	1,741	2	42	1	13	24	42
5 月	24	37	2	714	29.8	737	788	1,525	2	35	0	14	23	54
6 月	25	54	4	865	34.6	899	959	1,858	1	45	3	15	20	36
7 月	26	38	3	800	30.8	817	928	1,745	1	30	1	10	20	26
8 月	25	20	1	700	28.0	729	808	1,537	4	51	0	16	27	18
9 月	23	35	2	752	32.7	788	849	1,637	1	51	1	20	21	17
10 月	26	79	1	1,138	43.8	1,184	1,269	2,453	5	61	3	19	29	20
11 月	23	48	8	940	40.9	976	1,063	2,039	6	44	3	7	22	28
12 月	23	44	4	823	35.8	861	916	1,777	2	48	5	12	22	7
1 月	23	33	2	804	35.0	833	901	1,734	4	42	6	10	22	14
2 月	23	38	2	777	33.8	803	862	1,665	3	38	0	10	20	17
3 月	25	48	2	939	36.1	990	1,067	2,057	3	58	2	9	24	12
合計	290	522	31	10,043		10,435	11,333	21,768	34	545	25	155	274	291
月平均	24.1	43.5	2.6	836.9		869.6	944.4	1814.0	2.8	45.4	2.0	12.9	22.8	24.2
日平均				34.6				75.0						
2017	291	472	18	8,953		9,391	10,362	19,753	61	600	40	189	201	385
2016	292	541	27	9,508		9,926	10,802	20,728	135	562	64	126	202	329
2015	290	520	8	7,375		7,629	8,426	16,055	214	327	39	148	178	367
2014	293	558	19	8,381		8,685	9,488	18,173	331	390	42	299	275	292
2013	292	596	24	8,526		8,816	9,711	18,527	169	300	150	261	402	420
2012	292	545	27	7,789		8,075	8,285	17,254	102	340	73	248	251	295
2011	293	457	15	6,940		7,210	8,260	15,470	88	317	54	319		
2010	285	449	22	8,114		8,399	9,679	18,078	26	323	268	274		
2009	289	487	19	8,566		8,790	9,448	18,238	136	297	296	207		
2008	293	612	17	9,071		9,361	10,078	19,439	301	329	266	302		

(3) 新井親子つどいの広場

＜子育て親子の交流の場の提供＞

- ・市内に里帰り中の妊婦とその母、第 2 子出産の手伝いに来た祖母、育休中の父の利用など、いろいろな世代や家族単位での交流が見られた。顔見知りの親子を広場に誘う方が多く、孫の世話をしている男性を連れて来た利用者もいた。外国籍の方が増え、広場で同郷の方と知り合うと母国語で話をしている。二人目以降の妊娠や出産が多く、周りの利用者も一緒に下の子を見守ったり、授乳中に上の子を自分の子どもと遊ばせたりしている。広場を利用し始める月齢が遅くなっている。一方で 0 歳での保育園入園が増え、広場を利用する機会が少ない母が増えている。
- ・おいでよ！ふたごさん：2017 年 1 月から引き続き月 1 回開催した。双子親子のほか、自身が双子の母（5 名）や双子を妊娠している方（2 名）が参加し、双子ならではの話題がさまざま出ている。
- ・ファミリーデー：月 1 回第 3 土曜日に開催した。手形足形アート、おもちゃ作り、どろんこ遊び、折り紙、プラレールなど家族で楽しめる内容を企画し、父親を広場に誘うきっかけとなった。
- ・おいでよ！0 歳：9 年目の開催となった。アイスブレイク、今月のテーマを含んだ自己紹介、参加者から出された「こんなときどうしてる？」から困りごとを選んで経験を伝え合ったあと、わらべうたを紹介して

いる。終了後は授乳したり赤ちゃんを寝かせたりしながら、長い時間お話しが続いている。

- ・リサイクル衣料が多く寄せられた。「母親学級に出ておらず、何をそろえたらよいかわからない」、「双子を出産するので」、「保育園で着替えの数が必要」など、利用者同士で勧めあいながら持ち帰っている。
- ・一年を通して外庭で花や野菜などを利用者親子と育てた。初めて外遊びや砂場を経験する子どもも多い。

ーボランティアや学生との交流

- ・地元の市立中学校3校の職場体験を受け入れた。当日は巡回の先生と親子の交流もあった。
南行徳中学校 6/6 事前打合せ、6/21(木)・22(金) 2年生2名
妙典中学校 6/27 事前打合せ、7/4(水) 2年生3名、
第七中学校 10/4 事前打合せ、11/1(木)・2(金) 2年生3名
- ・7/28 少子高齢化討論会用調査 高校生2名
- ・7/23(火)～8/31(金)夏休み体験ボランティア 高校生2名、大学生5名
- ・9～3月了徳寺大学健康科学部看護学科小児看護学「地域の子どもを知るフィールドワーク実習」として、3年生40名を受け入れた。

ー新井地域ふれあい館や外部との連携

- ・8/23、2/27 新井地域ふれあい館の消防訓練に、希望した利用者とスタッフが参加した。
- ・昨年に引き続き、南行徳保健センターの保健師に講師を依頼した。地域のイベントなどで顔を合わせて話す機会が増え、保健センターと広場利用者の様子などを共有している。
- ・地域の方や通りすがりの方に広場を知ってもらうよう、入口外に広場のちらしと最新の広場だよりを掲示した。また新井地域ふれあい館入口に毎月広場だよりを掲示した。
- ・12/14～1/14 子育て支援課アンケート 100部実施

<子育て等に関する相談、援助の実施>

- ・保健センターや子育てナビ、母子保健相談窓口アイティ、いちかわファミリー・サポート・センター等の相談窓口を利用者自身が相談できるよう、スタッフが利用者の状況を確認し窓口を紹介した。各相談窓口とスタッフの距離が近いほど、利用者が相談しやすい。
- ・利用者からふとした会話の中に出された困りごとなどには、利用者同士をつなぎ、それぞれが持つ子育ての知恵を引き出し活用できるよう、スタッフがサポートした。気になる親子の様子について日誌に記録し、毎月のスタッフ会議で情報を共有し、利用者への対応を検討した。
- ・利用者に関して気になる様子は、すこやか応援隊や保健センターに相談したり報告している。保健師が来所して対応した際には、他の利用者からも気軽に相談があった。
- ・主な相談内容

4ヶ月児の遊び方、夜泣き、離乳食、おもちゃ・絵本は何か良いか、トイレトレーニング開始時期、言葉の遅れ、赤ちゃん返り、指しゃぶり、紫外線、湿疹、便秘、騒音の苦情、幼稚園情報、プレ幼稚園、卒乳、母親の体調不良、出産・入院中のサポート、上の子のストレス、夫のこと、転居等に伴う環境の変化 など

<地域の子育て関連情報の提供>

- ・保育園、幼稚園、子育てサークル等に関する閲覧用ファイルを作り随時更新した。近隣の地域子育て支援センターやこども館の行事予定、保健センターの講座日程、すこやか応援隊主催の行事等を掲示した。
- ・月1回広場だよりを発行し、今月の予定、講座の紹介、広場の最近の様子などを掲載した。
- ・「幼稚園入園前の3～4歳児は、どんなことをして過ごしている？」という質問が利用者から多く聞かれ、対象児に行き先や頻度、おすすめポイント、費用等を記入してもらい掲示した。プレ幼稚園、習い事、サークルなど、地域の子育て関連情報を知ることができた。
- ・お花見、夏祭り、お出かけ情報などを利用者から募集して掲示した。その他に赤ちゃんから参加できるコンサートなど、地域で行われる行事や催し物などの情報を掲示した。

・提供した主な情報

子育て交差点、ハッピーマタニティフェスタ、ファミリーフェスタ、そのほか地域のイベント、幼稚園預かり保育、子育てサークル情報、さくらんぼの会、ようちえんガイドブック、幼稚園情報、簡易保育園、新設保育園、プレ幼稚園、地域交流、近隣の医療機関、夏まつり、防災訓練、いちかわっこWEB、あんしんホットダイヤル、チーパス など

<子育て及び子育て支援に関する講習等の実施>

- ・利用者の関心の高いテーマを取り入れて講座を企画した。卒乳、歯みがき、幼稚園入園、ファミリー・サポート、絵本、病気の手当等については、事前に利用者から聞いてみたいことや困っていることを集めて掲示し、講座の内容を講師と共に検討した。参加アンケートに「明日からやってみたいこと」の項目を入れたところ、すぐに実行してみたいことがあがっていた。
- ・市川市中央図書館、子育てナビ、南行徳保健センター、いちかわファミリー・サポート・センターなど、行政や子育てに関連する機関に講師を依頼し、つながりを持つことができた。各機関が気軽に広場に顔を出すことで、利用者からも相談や依頼がしやすくなると思われる。
- ・毎月18日前後を木育広場として、良質な木のおもちゃでゆっくり遊べる機会を設けた
- ・2012年度から毎月5のつく日（5日、15日、25日）を「ごほんの日」とした。スタッフや利用者による絵本の読み聞かせや紙芝居、手遊びなどを行い、親子で絵本に親しむ時間となった。
- ・月1回、地震や火災を想定した避難訓練を、時間帯や避難路を変えて行った。子ども用防災頭巾や大人用ヘルメットを使用し、終了後は防災や日頃の備えを参加者と話し合い、緊急時への意識が高まった。
- ・元小学校の人形劇サークルのメンバー3名が来所し、劇を披露した。舞台裏の仕組みを見たり、人形や小道具に触ったりして、親子とメンバーとのふれあいの時間をもつことができた。

開催日	講習内容	講師	参加数
2018年 4/10(火)	名札を作ろう、お名前を知ろう	広場スタッフ	22組
5/23(水)	卒乳を知ろう ミルク、おっぱいのことを 助産師さんに聞いてみよう	川崎美香さん 東京ベイ浦安・市川 医療センター産婦人科 助産師	30組
6/11(火)	初めての歯みがき 赤ちゃんの歯を守るために	宮口成子さん 歯科衛生士	17組
7/12(木)	幼稚園入園のことを聞いてみよう	中鉢美代子さん、加賀陽子さん 子育てナビ	24組
8/7(火)	ペットボトルで風鈴作り	広場スタッフ	26組
9/18(火)	ファミサポのことを聞いてみよう	柴崎伊津子さん、森元ゆかりさん いちかわファミリーサポートセンター長、地区リーダー	8組
10/18(木)	絵本のことを司書さんに聞いてみよう	臼田千穂さん、大関ちあきさん 市川市中央図書館司書	22組
11/17(土)	家族の週間 新聞紙で遊ぼう 楽しいね、びりびり！くしゃくしゃ！	広場スタッフ	14組
12/11(火)	クリスマスコンサート	ママさんフルートアンサンブル パンピーノ 7名	28組
2019年 1/16(水)	もうすぐ節分 鬼のお面を作ろう！	広場スタッフ	19組
2/14(木)	そのときあわてないために うちでできる手当	樋口京子さん、大塚江美さん 南行徳保健センター 保健師	10組
3/9(土)	おにいさんとお楽しみ会	江澤拓也さん、配島彩夏さん 幼稚園教諭	18組

	おいでよ！ ふたごさん	ファミリーデー	おいでよ！ 0歳	ご本の日	避難訓練	
2018年4月	24日 2組	21日 5組	17日 23組	1回 4組	23日 3組	
5月	22日 4組	19日 2組	15日 15組	2回 30組	29日 5組	
6月	23日 3組	16日 13組	19日 18組	1回 8組	23日 5組	
7月	24日 1組	21日 10組	18日 14組	2回 14組		
8月	21日 6組	18日 8組	20日 17組	2回 10組	1日 7組	
9月	20日 3組		21日 13組	3回 13組	29日 8組	
10月	25日 8組	20日 7組	23日 21組	2回 23組	13日 4組	
11月	27日 3組		20日 13組	2回 9組	22日 8組	
12月	20日 2組	15日 5組	18日 13組	2回 9組		
2019年1月	22日 3組		25日 20組	2回 13組	10日 7組	
2月	8日 4組	16日 5組	21日 19組	3回 25組	27日 7組	
3月	19日 4組	16日 2組	13日 21組	2回 20組	16日 9組	

(4) 八幡親子つどいの広場

<子育て親子の交流の場の提供>

- ・2～3ヵ月の赤ちゃん親子の広場デビューが多くなった。保健師や保健推進員の訪問で勧められて来る0歳児の親子が増えた。初回から夫婦揃って来所したり、土曜日に家族全員で昼食を囲む姿をよく見かけ、家族同士での交流も見られる。
- 同級生や元同僚とたまたま再会したり、親戚や友人と待ち合わせて赤ちゃんを囲む様子がある。祖父母と孫や、ファミリー・サポートの活動などでの利用がよくみられた。
- ・後期は近隣のこども館が工事で休館だったこともあり、新規登録が例年より多かった。
- ・利用者から集まった簡単なレシピ「ママのご飯おいしいよ」の掲示は、「実際にママが作って食べさせているものなので参考になる」、「子どもがよく食べた」という声が聞かれた。全国のお雑煮の掲示を見てお互いの出身地のことを聞きあったり、同郷で盛り上がる姿が見られた。

ー広場内と周辺環境づくり

- ・赤ちゃんコーナーと1～3歳児のスペースを仕切っていたベッドを、低いしきりに変えたところ部屋全体の見通しがよくなった。1～3歳児が赤ちゃんの様子を見に来たり、赤ちゃんの母が大きい子たちの育ちの様子を垣間見たりと、異年齢の親子の関わりも多くなった。
- ・広場は外から中の様子を見ることができず、初めての利用者には入りづらい。入口のガラス戸の掲示を減らし室内の様子が見えるようにした。また外から毎月の予定がわかるように広場だよりを掲示した。
- ・猛暑の時期の直前に空調設備が故障し、市管財課によって大型エアコンが増設された。
- 雨のあとは、手洗い場近くやベビーカー置き場の壁から度々浸水があり、壁を修理した。
- ・授乳室の蛍光灯がちらつくため、スイッチと安定器の部品取り換えの工事を行った。

ーボランティアや学生との交流

- ・6～7月、和洋女子大学人文学部こども発達学科「地域子育て支援演習」フィールドワークとして、4年生5名の学生を2日間受け入れた。また7月にはゼミ生7名が広場と子育て応援メッセを見学し、1名が卒業研究のための観察に来所した。
- ・9～3月、了徳寺大学健康科学部看護学科小児看護学「地域の子どもを知るフィールドワーク実習」として、3年生54名を受け入れた。
- ・7/23(火)～8/31(金)夏休み体験ボランティア 小学生1名・中学生3名・高校生8名・大学生4名
- ・10月31日、11月1日の2日間、市川市立第六中学校職場体験として男子生徒3名を受け入れた。
- ・2～3月、子育てタクシー協会ドライバー養成講座5名の実習を受け入れた。

- ・ボランティア経験者が出産し、利用者になった。かつて利用者だった方がボランティアやスタッフになり、現役幼稚園ママとして利用者の相談にのったり、利用者目線で環境を整えたりしている。
- ・以前利用者だった祖母や「お役に立ちたい」と来たボランティアが増えた。

ー外部との連携

- ・市の広報の特集、10/6「シェアして子育てを楽しもう」、2/2「親子で楽しむくつろぎスペース」で広場が紹介された。また広場の様子がマイタウン市川で放送された。
- ・7/31 紙おむつ用防臭袋のアンケート協力、8/16 清掃部循環型社会推進部より防臭袋配布
- ・8/2 ファミリーフェスタ広報用撮影
- ・9/21 マイタウンいちかわ 撮影、10/6～放映
- ・12/14～1/14 子育て支援課による利用者アンケート実施

<子育て等に関する相談、援助の実施>

- ・子育て全般について専門家に相談したい利用者を、子育て支援課すこやか応援隊につなげ、保育士や栄養士と話す場としても広場を利用できるようにした。また、すこやか応援隊の保育師や栄養士が来所した折にミニ相談コーナーを作り、電話するまでもないが日頃心配なことを気軽に話せる機会を作った。(9/20)
- ・悩みながらも広場で子どもに手を挙げてしまう母親を、子ども家庭総合支援センターや保健センターにつなげ、広場での様子を伝えた。母の心が落ち着くよう、広場でも思いを聞くようにした。転出の予定があり、転出先の自治体にも支援をつなげてほしい意向であることを保健センターと確認した。
- ・主な相談内容
転入したばかり、離乳食、生活リズム、卒乳、夜泣き、おむつはずし、言葉、いやいや期、プレ幼稚園、保育園選び、いらいら、きょうだいの育児、産前・産後の体調不良 など

<地域の子育て関連情報の提供>

- ・月1回広場だよりを発行し、毎月の予定や広場の雰囲気伝える記事、季節の情報を紹介した。
- ・家族の週間に合わせ、近隣のおでかけ情報を利用者から集めて掲示した。またチーパスのサービスを受けられたところを募集して掲示した。市内の地域情報誌をそろえたほか、防災マップ、医療マップなどを置いた。地域子育て支援センター、こども館、てるぼサロンなどの予定表を掲示した。
- ・その他に提供した主な情報
ファミリー・サポート説明会、子育てナビ、産後ホームヘルプ、子育てカフェ、子育てサークル情報、子育て応援メッセ、幼稚園情報、地域交流、園庭開放、ようちえんガイドブック、ファミリーフェスタ、八幡回遊展、神社の豆まき情報、夏まつり、中山のひな祭り、子育てタクシー、いちかわっこWEB、あんしんホットダイヤル など

<子育て及び子育て支援に関する講習等の実施>

- ・親子の防災について危機管理課に、感染症の予防と対処について保健センターに講師依頼し、親子の目線に立ったお話しがあった。要望のあったトイレトレーニングや子どもの靴の選び方は、関心が高く参加者が多かった。
- ・七夕、クリスマス、小正月、イースターなど季節の行事を継続して行った。
- ・イースター講座の講師は広場の元利用者である。また利用者からハンドベルサークルが立ち上がり、赤ちゃんタイムにお披露目をした。
- ・5月の講座で初めて、材料費として実費100円を徴収した。
- ・地域の方から笹や柳の枝の提供があった。広場を知ってもらい、さまざまな協力をいただいている。
- ・昨年に引き続いてのんびり赤ちゃんタイムを第2、4火曜日に開催したほか、8月は毎日開催した。またパパタイムを第4土曜日に開催した。避難訓練を定期的に行い、ヘルメット・子ども用防災頭巾の着用方法など、日頃から来所者に触れてもらい、緊急時に使えるよう心がけている。

開催日	講習内容	講師	参加数
2018年 4/19(木)	お楽しみ交流会	広場スタッフ	25組
5/16(水)	ミニタオルで可愛いワンちゃんを作ろう	牧野英子さん 広場ボランティア	15組
6/6(水)	トイレトレーニング	トイレ・トレーニング・トレーナー 安田千佐子さん、石田由美子さん	32組
7/5(木)	たなばた会	広場スタッフ	23組
8/2(木)	新聞紙であそぼう	広場スタッフ	20組
9/7(金)	広場防災講座	危機管理室 染谷主幹 B Jプロジェクトチーム 井原陽子さん	12組
10/2(火)	良い足を育てる「赤ちゃんからの靴教育」	早稲田大学人間科学学術院 吉村真由美さん	47組
11/24(土)	体を使ってあそぼう！	元体育教室講師 宮本理雅さん	22組
12/14(土)	クリスマス会	トーンチャイムサークル ティンカーベルの皆さん	34組
2019年 1/16(水)	広場で小正月	広場スタッフ	18組
2/8(金)	感染症の予防と対処	市川市保健センター 野口里織さん	16組
3/4(月)	広場で「英語でイースター」	小学校外国語活動指導員 村上康子さん	12組

	のんびり赤ちゃんタイム		パパタイム	避難訓練	
2018年4月	10日 9組	24日 16組	28日 10組	12日 9組	
5月	8日 6組	22日 12組	26日 6日	27日 12組	
6月	12日 31組	26日 14組	23日 14組	27日 12組	
7月	10日 15組	24日 15組	28日 4組		
8月			25日 6組	13日 4組	
9月	11日 24組	25日 9組	22日 11組	15日 3組	
10月	9日 19組	23日 17組	27日 16組	25日 8組	
11月	13日 23組	27日 15組		13日 7組	
12月	11日 13組	25日 17組	22日 4組	18日 4組	
2019年1月	8日 9組	22日 14組	26日 15組	21日 9組	
2月	12日 13組	26日 17組	23日 9組		
3月	12日 17組	26日 10組	23日 14組	4日 8組	

(5) 広場関連

1) 会議・広場スタッフ研修・外部研修・外部との連携

○スタッフ会議：月2回開催。環境整備や利用者の様子等、スタッフ間で迅速に情報を共有し、十分に話し合って利用者への対応を検討した。

○広場会議：市内の広場が3ヶ所になってから行われていない。来年度は調整して行っていきたい。

○相談窓口連絡会議：各機関の事業内容説明を受け、相談窓口の担当者との交流を深めた。

- ・5/18(金) 保健センター事業説明、「今までの連携、これからの連携を考えよう」グループワーク 4名
- ・10/18(木) 発達支援センター事業説明 グループワーク 2名
- ・1/17(木) 子育てナビ、児童家庭支援センターこうのたけ事業説明、
「それぞれの機関と協働しよう ～子育てを支援する機関同士で繋がろう～」2名

- 子育てひろば全国連絡協議会 子育て支援士2種養成講座 7/1(土)、9/9(日)、9/28(金) 12/15(土) 5名
- 9/7(金) 子育てひろば全国連絡協議会 千葉ブロック別交流会 1名
 松戸、千葉、柏、浦安、成田、船橋、市川市の広場従事者
 妊婦受け入れ強化、育休中の利用、常勤・非常勤の支援の方向、地域連携、利用者支援
- 11/17(土)、18(日) 全国子育てひろば実践交流セミナーin 岐阜 2名
 行政説明「地域子育て支援拠点事業と利用者支援事業」 田村悟氏
 基調講演「地域共生社会の実現を目指して 地域子育て支援拠点に期待すること」
 原田正樹 日本福祉大教授
 パネルディスカッション「地域子育て支援拠点の新たな可能性を探る」
 分科会「多様な困難を抱えた家庭への支援」 山縣文治 関西大教授 1名
 分科会「子育て世代包括支援センターと地域子育て支援拠点の連携等について」 1名
- 2/3(日) 子育てひろば全国連絡協議会 中堅従事者向け研修
 行政説明「地域子育て支援拠点事業の役割と展望、子ども・子育て支援新制度について」
 「親の育てにくさの理解と支援」 秋山千枝子氏
 分科会：妊娠期からの切れ目ない支援と拠点の連携 2名
 分科会：拠点における利用者支援事業 1名

2) 環境整備

- ・玩具消毒、清掃などの衛生管理方法を常に見直し徹底した。
- ・冬場は感染症予防のため、室内の換気と湿度の管理に努め、おもちゃの消毒や利用者へ手洗いとうがい等をうながす掲示をした。嘔吐の処理用に、次亜塩素酸ナトリウム希釈液や使い捨て手袋などを常備した。
- ・新井親子つどいの広場では、砂場の管理や庭木の手入れ、毛虫などの害虫駆除を随時行った。

3) 事故、災害等への対応

- ・火災や地震の発生に備え、危機管理マニュアルの確認、避難袋・救急箱の整備、非常口・避難方法の確認に努めた。定期的に利用者と避難訓練を実施した。
- ・荒天や大雪など広場への来所または帰宅が困難なときや、交通機関が乱れる恐れがあるときは、利用者へ周知し無理のない来所を呼びかけ、安全確保に努めた。

1. 3 子育てサロン「みつばちっこサロン」

0歳児の親子を対象に申し込み制のサロンを、シェアスペースにわにわと新井地域ふれあい館で月1回開催した。歩けるようになったお子さん向けに、八幡近隣の公園に出向くみつばちキッズを開催した。

<<参加組数>> () は内数で新規参加組数

	赤ちゃんサロン	わらべうたサロン	新井わらべうたサロン	みつばちキッズ	備考
4月	7(2)	6(2)	8(7)	11	
5月	4(1)	6(0)	2(1)	7	
6月	4(1)	7(3)	3(2)	13	
7月	4(1)	6(2)	10(8)	7	
8月	5(1)	休	3(0)	休	
9月	7(2)	11(5)	3(0)	9	
10月	6(2)	12(2)	10(2)	8	
11月	8(4)	8(4)*	9(4)	9	*ライアー演奏
12月	11(4)	13(4)	5(2)	8	
1月	10(1)	6(1)	7(5)	6	
2月	13(2)	10(1)	7(3)	12*	*中山法華経寺
3月	14(1)	10(2)	11(5)	17 バス遠足*	*行船公園
合計(平均)	93(7.8)	95(8.6)	78(6.5)	107(9.7)	
2017年度	75(6.8)	91(8.2)	82(6.8)	87(8.7)	
2016年度	68(6.2)	48(4.4)	122(10.2)	63(7.0)	
2015年度	54(5.4)	39(3.5)	74(6.7)	96(8.7)	
2014年度	76(6.9)	57(5.2)	83(6.9)	86(8.6)	
2013年度	44(4.0)	58(5.3)	102(8.5)	146(9.7)	
2012年度	67(5.6)	75(6.2)	49(7.0)	45(5.6)	

《赤ちゃんサロン》 主担当：川島・花蜜・手塚 *第2水曜10:30-13:00、参加費500円

参加者が秋頃から急に増え、ランチテーブルが足りなくなるほどだった。リピーターや上の子連れのお母さんが、保育園や兄弟の子育てを初めてのママに伝授する様子があった。その中で「ねんトレ」「保活」「夜間断乳」など新しい事柄が話題にのぼり、翌月にはチャレンジしたことを報告しあっていた。LINEアドレスを交換し、一緒に出かけたりサークル活動を始めた方がいた。2/28(木)ひなまつりサロンを開催し、折り紙やわらべうた、手作り料理やおやつ、お抹茶で、7組の親子とスタッフが楽しむ会となった。

《わらべうたサロン》 主担当：島田・内山 *月1回10:30-13:00、参加費500円

「赤ちゃんはどう遊んでいいかわからない」という方が八幡親子つどいの広場でサロンを知って3ヶ月から参加したり、1歳を過ぎて続けて通う方、第2子連れでの再度の参加、1歳を過ぎての再度の参加など、さまざまな参加があった。1歳近くになると歌に合わせてスカーフをもって遊ぶ様子に子どもの成長を感じたり、毎回“大人のわらべうた”を母親自身も楽しんだ。わらべうた後は昼食をとりながら、離乳食の工夫や保育園の情報交換まで話が弾んだ。地域の方のライアー(小さい堅琴)の生演奏があった。

《新井わらべうたサロン》 主担当：寺内・島田 *月1回13:30-15:30、参加費500円

4月は遊び、5月は紫外線対策と、交流タイムの話題を参加者と一緒に考え次回の募集をしてみた。が、申込みに変化がなかったため元の形に戻し、少人数なりにゆったりと交流した。9月に同じ会場で実施したBPプログラムの参加者がサロンに参加し、継続参加が増えた。兄弟の上の子を連れて参加する親子もあり、上の子がわらべうたを楽しんで遊ぶ様子や兄弟の子育てなど話題が広がった。“大人のわらべうた”では母親が童心に帰っていた。積極的に交流する方が多く、初めての方も臆せず話せる雰囲気だった。

《みつばちキッズ》 主担当：藤城・渡部 *第3火曜10:30-12:00、参加費100円

今年度は晴天に恵まれ、雨天中止がなかった。自宅ではできないからと夏の水遊びが好評だった。シャボン玉遊びでは、上手な子のまねをしたり異年齢で遊ぶ姿があった。行船公園へのバス遠足では、勇気をだして動物と触れ合う子どもたちに、ママたちが喜ぶ姿が印象的だった。 *八幡児童公園等

1. 4 親育ち支援講座

(1) 成田市児童ふれあい交流事業

今年度は申請していない。

(2) いのちの教育講演会 対象：市川市内の中学生、

ー市川市立第六中学校 1/28(月)いのちの教育講演会、2/4(月)赤ちゃんふれあい体験

1、2年生を対象に、鬼高みつばちっこを利用する地域の乳児親子との交流を予定していたが、インフルエンザの流行により中止となった。

(3) 親子つどいの広場、なかよしひろばでの実施

新井親子つどいの広場や八幡親子つどいの広場では、定期的に0歳児や双子、父親を対象に、講座を設けた。また利用者に講師を依頼して講座を企画した。

なかよしひろばでは、子育てのわかちあいプログラム（3回講座）およびB Pプログラム（4回講座）を実施した。

子育てのわかちあいプログラム →



1. 5 サークル支援

- ・新井親子つどいの広場ではじまったトーンチャイムサークルは、市川市の子育て支援サークルに登録された。主に新井地域ふれあい館で活動し、新井・八幡親子つどいの広場や近隣の幼稚園で演奏を行った。

- ・赤ちゃんサロンを卒業した方から依頼を受け、シェアスペースにわにわの利用をサポートした。イベントの際は装飾や仮装、持ち寄りランチを楽しみ、密な交流の場となった。

ー親子の利用：10月ハロウィン 4組、12月クリスマス 4組

1. 6 なかよしひろば (成田市委託) : 公津の杜なかよしひろば

<実施概要>

1	開所日時	毎月第4月曜日と年末年始(12/29～1/3)を除く9時～16時30分 *第2金曜日は午後2時閉館
2	職員配置 常時4名以上 (うち管理者(常勤)1名)16名	伊藤(L、常勤)、島田(S.L、常勤)、青柳(S.L)、松原(S.L、常勤) 和田、斎藤、佐藤美奈子 谷口、川島、上野、尾野、林、佐藤、樋口、笠井、竹田
3	アシスタントスタッフ	早矢仕、田中
4	ボランティアスタッフ	松島
	施設場所	成田市公津の杜4丁目8番地 公津の杜コミュニティーセンター1階

<事業実績数 利用者数等>

	開所 日数	新規 登録 *	利用組 数	利用者数									業務	
				子ども	母	父	祖母	祖父	その他	小学生	市外 ボラ	合計	相談	
	日	組	組	人	人	人	人	人	人	人	人	人	件	
4月	29	66	1,396	1,722	1,268	142	57	12	9	30	13	3,253	31	
5月	30	57	1,419	1,731	1,285	150	48	10	9	22	13	3,268	44	
6月	29	74	1,568	1,855	1,413	217	55	15	7	26	24	3,612	37	
7月	30	79	1,584	1,957	1,449	189	70	13	11	73	31	3,793	48	
8月	30	64	1,442	1,855	1,260	198	59	23	17	67	11	3,490	35	
9月	29	55	1,534	1,936	1,341	243	59	13	7	37	19	3,655	31	
10月	30	59	1,500	1,833	1,375	174	41	9	5	19	16	3,472	28	
11月	29	42	1,430	1,697	1,334	130	34	4	4	7	6	3,216	36	
12月	27	72	1,371	1,688	1,223	169	36	10	13	16	6	3,161	35	
1月	27	27	1,202	1,479	1,087	151	28	7	4	4	37	2,797	26	
2月	27	28	1,230	1,460	1,119	165	36	9	6	4	7	2,806	20	
3月	30	44	1,453	1,873	1,334	196	34	20	2	22	14	3,495	26	
合計	347	667	17,129	21,086	15,488	2,124	557	145	94	327	197	40,018	397	
月平均	29	55	1,427	1,757	1,291	177	46	10	8	27	16	3,334	33.1	
日平均			49.4	60.8	44.6	6.1						115.3		
2017年度	347	1,609	18,080	22,564	16,348	1,997	685	171	99	351	215	42,430	326	
	29	134	1,507	1,880	1,362	166	57	14	8	29	18	3,536	27.2	
2016年度	346	737	19,256	23,740	17,137	2,069	838	144	116	327	219	44,590	476	
	29	61	1,604	1,978	1,428	172	70	12	9	27	18	3,715	39.6	
2015年度	348	661	18,832	22,995	16,719	1,901	872	170	121	306	166	43,250		
	29	55	1,569	1,916	1,393	158	72	14	10	26	14	3,604		
2014年度	347	902	19,178	24,011	16,777	2,149	1,014	185	135	219	337	44,263		
	29	76	1,599	2,001	1,399	180	85	16	12	19	29	3,689		
2013年度	259	1,996	13,814	17,543	12,066	1,714			1,242	253	345	33,163		
	29	222	1,535	1,949	1,341	190			138	28	38	3,685		

*2017年度は、4月から利用者登録を更新した。

<運営に関する業務>

(1) 子育て親子の交流の場の提供と交流の促進

① 施設、遊具の環境づくり

- ・幅広い年齢の親子が同時に過ごす場所として安全に留意し、年齢に合わせた環境づくりに配慮した。赤ちゃんコーナーに大きな子どもが走って入って行かないように、ゲートを置く対策をした。レゴブロックやすごろくなど幼児向けの遊具を、貸し出し制からおもちゃ棚に置くように変更し、親子で遊んで片づけてもらうようにした。大きな子の遊びを大人が意識することにもつながっている。お絵かき、ぬり絵、粘土は、1歳から興味を持って遊べるので、利用者が自由に手に取ることができるようにした。粘土は多くの子どもが使用して消耗するため、定期的に入れ替えている。受付に置いてある遊具については、スタッフの目の届く場で遊ぶことで、安全であるだけでなく遊びを見守り援助することができた。
- ・ペットボトルの水時計は幅広い年齢の子どもが手に取って遊び、親からも作り方の問合わせが多かった。縁日ごっこで人気だった「ボール投げ」と「魚つり」を、ひろばのコーナー遊びとして引き続き楽しんだ。
- ・ひろばの壁に「利用者からの情報コーナー」を設けた。「幼稚園ママへの質問」、「秋の自然と遊ぼう」、「サンタさんをお願いしたプレゼント、もらったプレゼント」、「冬風邪をひかないためには」などのテーマを設定し、利用者からの情報を掲示した。スタッフや利用者同士の会話のきっかけとなった。
- ・ひろばの壁面製作：季節を感じる毎月の制作を親子が行い、作品を持ち帰ったりひろば壁面に掲示した。

② 利用者対応と利用者同士の交流

- ・平日の父親の来所が増えた。また2人目妊娠中の母親の来所が多い。母親の状況を観察し、体調が悪いときは上の子どもの遊びを援助するようにした。第2子、3子の赤ちゃんを連れ、上の子どもの活発に動き回ったりいやいや期で困っているときには、上の子とも母親がゆったり過ごせるように配慮した。
- ・子ども同士のいざこざのときはスタッフが近くで見守り、解決できないときは子どもの気持ちを代弁し、母親の気持ちを聞いて援助するようにした。
- ・ミニお楽しみタイム：11時と閉所前の1日2回、親子でうたや読み聞かせを楽しんだ。子どもたちの様子や年齢に合わせて紙芝居や大型絵本を交え、こどもの日や七夕、クリスマス、ひなまつりなど季節の行事のときにはパネルシアターを行った。

	童謡	わらべうた
4月	こたりのうた	たんぽぽ
5月	おかあさん	ねずみねずみ
6月	とけいのうた	あめ あめ
7月	かもめのすいへいさん	あっちゃなげ こっちゃなげ
8月	うみ	にゅうめん そーめん
9月	大きな栗の木の下で	とんぼさん
10月	まつぼっくり	おらうちの どてかぼちゃ
11月	やきいもグーチャーパー	おてぶしてぶし
12月	おもちゃのチャチャチャ	だいこんづけ
1月	雪のこぼろず	てんやのおもち
2月	コンコンクシヤンのうた	うまはとしとし
3月	春がきた	つくしはつんつん

③ ボランティアや学生との交流

・利用者主体の活動(ママボランティア)：

子どもを連れながら、また子どもが幼稚園に入って手が空いた母親が、興味あることや得意なこと

に取り組んだ。9時半開始だが早起きの練習になる、ひろばに来るきっかけになる、本番の演奏では達成感がある、という感想があり、少しの時間で無理なく活動でき、母親の気分転換ややりがいになっている。

ーハンドベル、コーラスチーム： 夏と春のお楽しみ会やクリスマス会に向けて随時募集した。ハンドベルは火曜日、コーラスは木曜日に各8回ずつ練習し、それぞれ10名以上参加があった。練習では仲間同士助け合い、子どもはスタッフにサポートしてもらいながら取り組んだ。コーラスチームは3/22 もりんぴあこうづのサークル活動「お散歩倶楽部」で40名近い地域の方々の前で歌う機会があった。

ー工作チーム M-girls、チョコキチョコキ隊： 毎水曜日、誕生日カードやガラス窓飾り作りと、8月の縁日ごっこに向けて屋台の制作を担当した。縁日ごっこの活動は14名の参加があり、以前から品物作りを担ってきた“M-girls”がお店のアイデアを出し、品物作りを牽引した。新企画を出し、これまでの企画に新しいアイデアを加え、「子どもたちが楽しめるものを」と現役ママ目線で取り組んだ。



- ーもりんぴあフェスティバルママ・パパコーナー： 手作り講座のママ講師にロゼット作りコーナーを依頼し、40 人の参加があった。髪飾りなど利用者ママの手作り品販売や、利用者パパの写真展示を行った。
- ー託児ボランティア： 「子育てのわかちあいプログラム」や「赤ちゃんのごはん」講座で、幼稚園児を持つ利用者が託児ボランティアとして活動した。新しいメンバーも加わった。
- ーその他： 利用者の父親がクリスマス会の記録動画を撮影した。ひろばで仲良くなった1歳の親子10人がもりんぴあ2階の会議室に自主的に集まって交流した。その際、ひろばの遊具と布団を貸し出した。
- ・ 社会人や学生のボランティア： 縁日ごっこの手伝いに、帝京平成大学1年2名、3年1名が参加した。
ミニお楽しみタイムに帝京平成大学2年1名が参加し、ギターを弾いて歌やふれあい遊びを親子と楽しんだ。
学生スタッフとして帝京平成大学3年1名、学生ボランティアとして千葉こども専門学校1名、植草学園大学1名が参加した。
社会人男性1名が休日にボランティアとして子どもたちと遊び、慕われている。
幼稚園教諭2名のミニお楽しみタイムは、ギターやピアノを使い子どもたちが惹きつけられていた。
公津の杜小学校5年生2、3名が休日に定期的に来所し、子どもたちと触れ合った。

④ 地域や外部との連携

- ・看護学生実習： 国際医療福祉大学成田看護学部2年生 8～12月、2日間、4名ずつ 62名
母親たちから育児の経験談を聞き、0～5歳までの子どもの成長発達について実際に学んでいた。
- ・子育てタクシー実習：3月14～16時、男性11名 京成タクシー成田が子育てタクシーを開始するため、全国子育てタクシー協会から依頼を受け、タクシードライバーの実習を受け入れた。
- ・職場体験等：5/11 久住小学校の60名が見学。10/31 公津の杜小学校2年生と保護者が、まち探検として来所。11/15、16 公津の杜中学校2年生が職場体験として来所。
- ・ 地域の人の来訪、交流等
ーおもちゃクリニックがもりんぴあこうづで毎月1回活動しており、毎回遊具や絵本の修理を依頼した。
ー杜の家なりた、もりのこびとたち、生活クラブ、不二学園の子どもたちが、ひろばを利用した。
ーイトーヨーカドー助産師佐々木さん お知らせを持って来所。
ー帝京平成大学櫻井先生 成田市の病児保育を見学(伊藤、青柳参加)。
ー国際医療福祉大学新道先生 実習のお礼と報告のために来所。
ー健康増進課保健師 10月のBP講座見学
ー千葉大学4年1名が見学。東洋大学4年1名が卒業論文のためにひろばでアンケートを実施。
ー利用者の祖母の方 折り紙が得意な方から折り紙のこまなどの作品をいただいた。
ー取材：成田ケーブルテレビがペイント遊びなど手作りの講座を取材。成田市広報がBP講座を取材。
- ・ 他団体主催イベントへの協力：
ーファミリー・サポート説明会の託児に、ひろばスタッフが協力した。(上野・佐藤・松島)
ーもりんぴあこうづ主催ピラティス講座の託児に、遊具を貸出している。
ー9/9(日)もりんぴあこうづ来館100万人達成記念式典 出席(伊藤)。
ー9/24(月)もりんぴあフェスティバル ひろば紹介のパネル展示やお絵かき作品展を行う。利用者パパによる粘土作品や写真の展示、利用者手作り品の販売、ロゼット作りコーナー講師としての参加があった。
ー10/13(土)もりんぴあこうづ子どもの権利条約写真展 「2日間だけのギャラリートーク」
「スウェーデンの子育てと子どもの権利」講演(伊藤)
ー12/23(日)もりんぴあこうづ主催「クリスマスミュージックフェスタ」 ハンドベルサークルが参加。
ー3/22(金)もりんぴあこうづ主催「お散歩倶楽部」 コーラスサークルが参加。
- ・ 「成田市子育て応援サイト」関連： 子育て応援サイト編集会議が、月1回もりんぴあこうづ会議室で開催された。編集委員としてひろば利用者が参加した。会議ではひろばスタッフが託児を担当し、託児用の遊具をひろばから貸し出した。

(2) 子育て等に関する相談、援助の実施(育児相談、特別支援など)

- ・面談や電話等による育児相談を実施した。スタッフへの相談は、親子の遊びを援助しながら日々の暮らしの話題の中で相談を受けることが多く、内容は幅広い。今年度より子育て相談デーを月1回実施した。普段ひろばに来ていない親子が相談するケースがあり、ひろばを継続して利用するきっかけとなった。
- ・スーパーバイザー(助産師・看護師)相談は、母乳、湿疹、便秘など普段気になっていることを気軽に相談できる機会となった。0～1歳児は身体の心配ごとが多く、継続した相談がある。保育課の栄養士による栄養講座、健康増進課の歯科衛生士による歯磨き講座は、講座のあとの個別相談が好評だった。
- ・相談の中で、専門機関や地域の資源に関する情報提供を行った。内容を記録し、どの機関と連携したか、どのような情報を求めているのかをまとめた。
- ・主な相談内容
離乳食、発達、卒乳、湿疹、おむつはずれ、下痢、言葉、睡眠、生活リズム、頻尿、いやいや期、きょうだい指しゃぶり、アレルギー、砂遊び、夜泣き、誤飲、左利き、かんしゃく、紫外線対策、おんぶ、預かり保育、ママ同士のline、夫のDV、幼稚園に行きたがらない、吃音、療育、上の子の不登校、近隣の苦情 など
- ・特別な配慮が必要な支援と専門機関との連携 : 利用者の中には特別な配慮が必要な親子がいるため、いつ来所してもスタッフが自信をもって対応できるように、ケース記録にまとめ共有した。他の専門機関(子育て支援課、健康増進課など)のサポートが必要なケース(7件)については、適時、積極的に連携をとり、報告、情報共有し助言を受けることで、ひろばでの有効なサポートにつながった。5月に健康増進課、子ども発達支援センター、子育て支援課と顔合わせし、共有していくことを確認した。

(3) 地域の子育て関連情報の提供

- ・「公津の杜なかよしひろば便り」を月1回発行し、イベント情報、ひろばの様子や過ごし方、育児のヒントなどを掲載した。市のホームページに掲載し、もりんぴあこうづや公津の杜図書館に掲示した。ひろばのブログで、随時イベント情報やひろばの様子などを更新した。

発行月	ひろば便りのテーマ	発行月	ひろば便りのテーマ
4月	なかよしひろばの講座	10月	遊んで、遊んで、育ちます
5月	ひろばのママ活	11月	ひろばで交流
6月	なんでもお話ししてみませんか?	12月	共にすごすひろば
7月	水遊び、どろんこ遊びの夏	1月	毎日ひろばで成長しています
8月	縁日ごっこ ますます進化しました	2月	入園前の心配なことアレコレ先輩ママに聞いてみました
9月	おねえさん、おにいさんといっぱい遊ぼう!	3月	親子でほっこり♪お楽しみタイム、帰りの会

- ・市の子育て応援サイトにイベント情報を随時掲載し、新規の来所者にサイトの利用をすすめた。
- ・成田国際高校青木先生が来所し、「あかちゃんふれあい実習」の親子ボランティアが紹介され、多くの参加申込みがあった。
- ・もりんぴあフェスティバルと健康福祉館まつりで、ひろば紹介のパネル展示とパンフレット配布をした。
- ・その他の情報提供
健康増進課「健康カレンダー」、子育て支援課「パパ向け冊子」・「どならない子育て練習法」、市広報、成田市子ども館なかよしひろば・三里塚なかよしひろばのお便りとイベントスケジュール、保健福祉館プログラムのちらし、市内幼稚園の案内、もりんぴあこうづのお知らせ、おむすびプレーパーク・子どもプラザ成田・もりのこびとたちのちらし、成田国際福祉専門学校発表会、幼稚園情報ファイル(入園案内のパンフレット)、保育園情報(保育園ホームページのプリント)など
- ・五周年記念誌の発行 : ひろば開所5周年を記念し作成した。ひろばの5年の歩みを振り返るとともに、関係各位と利用者からのメッセージを掲載した。関係機関と寄稿した利用者に記念誌を配布したほか、ひろばで自由に閲覧できるようにした。

(4) 子育て及び子育て支援に関する講習等の実施

- ① 子育て講座： 子どもの生活の課題をとらえ、利用者に知っておいてほしい子育ての知識をわかりやすく伝えた。利用者が情報交換できる時間を講座内に設け、好評だった。市の「なりた知っ得出前講座」を活用し、保育課職員による「成田市の保育のはなし」や消防署職員による「救命講習」などを開催した。

開催日	内容	講師・主に活動した人	参加数
4/17(火)	歯磨き	成田市健康増進課 歯科衛生士	40 組
5/22(火)	幼稚園入園	ひろばスタッフ、幼稚園ママ	44 組
6/ 8(金)	おむつはずれ	ひろばスタッフ	45 組
7/10(火)	生活リズム	ひろばスタッフ	25 組
10/6(土)	保育園入園	成田市保育課 堀井さん	45 組
11/22(木)	おもちゃと子育て	おもちゃコンサルタント・ひろばスタッフ 松原寿子さん	26 組
12/11(火)	生活リズム	ひろばスタッフ	20 組
1/21(月)	絵本と子育て	ひろばスタッフ	25 組
2/16(土)	保育園入園	ひろばスタッフ、先輩ママ・パパ	25 組
3/9(土)	救命講習	成田市公津消防署職員	17 組

- ②赤ちゃん講座： 1歳半までの赤ちゃんに特化した内容で、今年度は同じ内容の講座を年2回開催した。前期に開催した健康講座が大変混雑したため、どの講座も1日2回開催した。離乳食や健康講座、授乳・卒乳など、専門職による講座は利用者の期待が大きく、講座に関する問い合わせが多数あった。

開催日	内容	講師・主に活動した人	参加数(AM)	参加数(PM)
4/26(木) 10/18(木)	行動と安全	ひろばスタッフ	11 組 12 組	12 組 14 組
5/24(木) 11/15(木)	おもちゃ	おもちゃコンサルタント・ひろばスタッフ 松原寿子さん	9 組 12 組	12 組 8 組
6/21(木) 12/20(木)	健康講座	助産師・看護師 佐藤美奈子先生	40 組 19 組	- 15 組
7/26(木) 1/24(木)	離乳食	成田市保育課栄養士 佐久間真由美さん、三木直子さん	29 組 23 組	20 組 14 組
8/23(木) 2/21(木)	授乳・卒乳	助産師・看護師 佐藤美奈子先生	31 組 15 組	14 組 17 組
9/20(木) 3/21(木)	あそびと生活	ひろばスタッフ	10 組 6 組	8 組 6 組

- ③手作り講座： 「赤ちゃんのごはん」では、実際に大人の食事から取り分けて調理し子どもと一緒に食べることを目的とした。「ロゼット作り」では利用者が講師となり、人気の手芸を気軽に体験した。他の講座でも調理や手芸が得意な利用者に、参加者に教える役割を依頼した。託児で託児ボランティアが活躍した。

開催日	内容	会場（もりんぴあこうづ）	講師	参加数
5/29(火)	赤ちゃんのごはん	キッチンスタジオ/工芸室(託児)		14 組
6/22(金)	ロゼット作り	工芸室	UN-DECOR ロゼット認定 講師 宮川直美さん	AM : 11 組 PM : 10 組
11/13(火)	赤ちゃんのごはん	キッチンスタジオ/工芸室(託児)		12 組
2/18(月)	通園グッズ作り	工芸室	ひろば利用者	4 組

- ④作ってあそぼう： 今年度は企画と実施をスタッフが交代で担当した。普段体験できないイラストレーターとの「ペイント遊び」や、季節のおもちゃ作りが好評だった。土日の開催は父親や幼稚園・保育園児の参加が多かった。1月はお楽しみ会で活躍した保育士が、親子とひろばの窓ガラスをペイントした。

開催日	内容	講師・主に活動した人	参加数
4/5(木)	くるくるこいのぼり	ひろばスタッフ	33 組
5/14(月)	ガムテープアート	ひろばスタッフ	23 組
6/16(土)	ペイント遊び	イラストレーター バナナヤマモトさん、ひろばスタッフ	35 組
7/24(火)	水遊びおもちゃ	ひろばスタッフ	38 組
9/8(土)	ペイント遊び	ひろばスタッフ	33 組
10/25(木)	紙コップおばけ むくむくくん	ひろばスタッフ	15 組
11/12(月)	米粉ねんど	ひろばスタッフ	20 組

12/7(金)	ゆらゆらサンタ	ひろばスタッフ	30 組
1/10(木)	たこ	ひろばスタッフ	38 組
1/13(日)	ガラスペイント	幼児体育指導員・保育士 マリリンさん	25 組
2/1(金)	鬼のお面	ひろばスタッフ	23 組
3/23(土)	ペイント遊び	ひろばスタッフ	20 組

- ⑤赤ちゃんサロン： 1歳半くらいまでの赤ちゃん親子が会える場として実施した。前半はわらべうた、後半は母親同士で交流する時間を設け、終了後も話しがはずんでいた。今年度は11月に「赤ちゃんサロン＆プレママサロン」を開催したがプレママの参加はなく、周知の方法や日程等を検討していきたい。

※赤ちゃんサロン ねんねちゃん： 6ヶ月くらいまでの赤ちゃん親子を対象として実施

開催日	参加数 午前 午後		開催日	参加数 午前 午後		開催日	参加数 午前 午後	
4/3(火)	12 組	14 組	8/7(火)	7 組	9 組	12/4(火)	13 組	5 組
※ 5/1(火)	8 組	4 組	※ 9/4(火)	8 組	5 組	1/4(火)	8 組	10 組
6/6(木)	8 組	6 組	10/1(月)	5 組	10 組	※ 2/5(火)	15 組	9 組
7/3(火)	12 組	12 組	11/6(火)	16 組	7 組	3/6(水)	10 組	10 組

赤ちゃんサロンパパ： 簡単なわらべうた遊びや、子どもとの生活を振り返るワークを取り入れ、父親が参加しやすいようにした。サロンをきっかけに家族ぐるみのつきあいが始まった方もいた。

* 日程と参加数：5/19(木)4組、10/20(土)8組、1/19(土)7組

- ⑥お楽しみ会&お誕生日会(金曜)： 誕生月の親子を利用者の皆さんと祝う会として実施した。お楽しみ会では、季節に合わせてゲストやスタッフ、ママ活動の発表などを取り入れた。

開催日	内容	講師・主に活動した人	お楽しみ会 参加数	お誕生日会 参加数
4/27	出会いと春	ひろばスタッフ	26 組	12 組
5/25	親子でリトミック遊び	ひろばスタッフ	30 組	14 組
6/29	雨となかよし	ひろばスタッフ	40 組	12 組
7/20	さあ！夏だ	ひろばスタッフ、ママハンドベル・コーラス	26 組	12 組
8/24	みんなで歌おう!!	ひろばスタッフ	30 組	11 組
9/28	秋のはじまり	ひろばスタッフ	33 組	10 組
10/26	みんなでダンス	幼児体育指導員・保育士 マリリンさん	29 組	14 組
11/30	親子でクラシック	アミーチあんだんての皆さん	37 組	8 組
12/14	親子でクリスマス	ひろばスタッフ、ママハンドベル・コーラス	72 組	17 組
1/25	冬本番	ひろばスタッフ	27 組	11 組
2/22	親子でリトミック遊び	ひろばスタッフ	26 組	4 組
3/15	みんな大きくなったね	ひろばスタッフ、ママハンドベル・コーラス	54 組	18 組

- ⑦おそとひろば(大作台公園、木曜)： 公園遊びを通して親子で交流する機会として月2回実施した。今年度は1歳のよちよち歩きから参加する親子が増え、寒い季節も参加者が多かった。8/1(水)～4(土)に予定していた「ちょこっと水遊び」は猛暑で中止し、かわりにミニお楽しみタイムにダンスをおこなった。

開催日	参加数	開催日	参加数	開催日	参加数	開催日	参加数
4/12	17 組	7/5	17 組	10/4	17 組	1/10	23 組
19	17 組	12	22 組	11	11 組	17	17 組
5/10	2 組			11/1	32 組	2/ 7	24 組
17	16 組			8	30 組	14	17 組
6/7	18 組	9/6	7 組	12/6	雨天中止	3/ 7	雨天中止
14	28 組	13	31 組	13	25 組	14	25 組

- ⑧リラックスピラティス(水曜)： 講師はひろば利用者でもあり、赤ちゃんのいる母親など、体を動かす良い機会となった。

*講師：諏訪貴子さん(FTPアドバンスマットインストラクター・Peak Pilates PPS1 修了)

開催日	参加数	開催日	参加数
4/11	30 組	10/10	24 組
5/ 9	17 組	11/14	26 組
6/13	15 組	12/12	18 組
7/11	13 組	1/ 9	30 組
8/ 8	10 組	2/13	20 組
9/12	20 組	3/13	25 組

- ⑨おりがみせんせいの日： 折り紙講師を招いて、いつでも折り紙のものを作れる日を設けた。季節感のあふれる折り紙を中心に、子どものリクエストに応じて一緒に作り、時には大人も楽しんでた。

*講師：滝口和子さん 日程と参加数：8/30(木)15組、12/16(日)10組

⑩おにいさんデー(日曜)： 保育を学ぶ大学生や保育士のおにいさんが、1日ひろばで子どもたちとじっくり遊んだ。お楽しみタイムや帰りの会ではギターを演奏し、歌ったり体操をしたり、普段とは違うミニイベントが人気だった。 *日程：4/22、5/20、6/17、9/2、10/14

⑪ひろばキッズ： 親子の仲間作りの機会と遊びの体験がふくらむよう内容を考え、年齢別の4回シリーズを年2回ずつ開催した。絵の具や米粉粘土作りなど皆で遊ぶうちに、家でもできるという自信となっていた。毎回母親同士の交流の時間を取り、知り合いとなりひろばで会って話す様子が見られた。

*ひろばキッズ1歳 ・月曜 6/4 15組、6/11 11組、6/18 14組、7/2 14組
・金曜 10/19 15組、11/2 13組、11/9 13組、11/16 11組
*ひろばキッズ2歳 ・金曜 4/13 14組、4/20 13組、5/11 12組、5/18 12組
・金曜 9/14 14組、9/21 10組、10/5 11組、10/12 12組

⑫特別企画： 今年4回目を迎える縁日ごっこやウィンターコンサートを引き続き実施した。子どもの靴の専門家による講座やファミリー・サポートについて知る講座を初めて実施した。

開催日	内容	講師・主に活動した人	参加数
5/31(木)	良い足を育てる 「赤ちゃんからの靴教育」	早稲田大学人間科学学術院招聘研究員 吉村真由美さん	53組
7/14(土)	縁日ごっこ	ひろばスタッフ、ママボランティア、 小学生ボランティア、大学ボランティア	57組
7/31(火)	ファミリーサポートって なあに	社会福祉協議会 ファミリーサポートセンターコーディネーター 高坂さん	15組
2/11(月)	ウィンターコンサート	綱春子さん(ハープ)、坂木郁子さん(声楽)	20組

⑬B Pプログラム： 初めての赤ちゃんを育てている母親を対象とした連続講座を開催した。市の広報や子育て応援サイト、健康増進課、子育て支援課などに参加者募集ちらしの掲示を依頼した。講座では親子でふれあいながら、これからの子育てに必要な知識を学び、同じ立場の母親が交流する良い機会になった。

・週1回2時間(10～12時)、合計4回のプログラム

期間	参加数	開催場所	ファシリテーター
5/29(金)～6/19(金)	18組	もりんぴあこづ 会議室D	齋藤まり子・前田真由美
10/2(火)～10/23(火)	18組	もりんぴあこづ 会議室D	島田朋子・山田貴子
3/5(火)～3/26(火)	8組	もりんぴあこづ 会議室D	齋藤まり子・伊藤雅子

⑭子育て講座 子育てのわかし合いプログラム： 子育て中の親同士、子育てをして感じる思いや関心事、経験やアイデアをわかし合い、自分に合った子育ての仕方を考えてみる連続講座を開催した。カナダの親支援プログラム「ノーバディズ・パーフェクト」の要素を使って、安全な場所で安心して話せるようファシリテーターが進行を手伝い、子どもは別室で託児した。テーマはファシリテーターが始めに提案し、後に参加者のニーズを聞いて決めた。 ・週1回2時間(10～12時)、合計3回のプログラム)

開催日(月曜)とテーマ	参加数	開催場所	担当
12/3 子どもの生活	母親：14名	もりんぴあこづ会議室D	NP-J認定ファシリテーター 伊藤雅子、松原寿子
12/10 子どもとのかかわり方	子ども：16名	もりんぴあこづ会議室A	託児ボランティア 3名
12/17 友達・きょうだいとのかかわり わたしのこと	6か月～3歳		
3/4 子どもの生活	母親：13名	もりんぴあこづ会議室D	NP-J認定ファシリテーター 島田朋子、松原寿子
3/11 子どもとのかかわり方	子ども：13名	もりんぴあこづ会議室A	託児ボランティア 7名
3/18 わたしのこと	9か月～3歳		

参加募集として、市の広報紙やひろば便りへの掲載、もりんぴあこづ内での掲示、ひろばでの声かけを行った。託児にはスタッフと幼稚園児の母親である託児ボランティア、実習生が参加した。多くの参加者が、経験学習プログラムやロールプレイをやってみて、自分の子育てや問題解決のヒントとなりこれから活用したいと話していた。「完璧でなくてもいい」、「人と話せるっていい」、「子どもや家族におおらかな気持ちで接する心の余裕ができた」などの感想があり、安心して子どもを預けることができて、プログラムに向き合っていた。課題としては、回数、時間がもう少しほしいという声があり、また幼稚園ママに託児ボランティアをお願いすることを考え、回数や実施の時期を検討したい。

<施設及び附属設備及び備品の維持管理に関する業務>

1) 施設設備の保守管理

- ・施設を安全かつ安心して利用できるよう施設の破損など予防保全に努め、日常点検を実施し、不具合は速やかに市へ報告した。市所有の備品について、市と情報を共有しながら備品台帳を作成し管理を行った。
- ・遊具については、利用者も多く子どもの年齢が幅広いので、破損など日常の点検・管理に留意した。
- ・電子レンジのターンテーブルを子どもが触り、落ちて破損した。
- ・自動ドアが作動しないことがあり、何度か点検を依頼した。

2) 環境維持管理業務

- ・衛生管理については、常に室内清掃、消毒、遊具の洗浄などに留意した。室内の室温、換気、湿度に留意し、インフルエンザやノロウイルス対策などについて、感染予防の周知と対策に努めた。
- ・第2金曜日の午後はふだん消毒できないすべての遊具の消毒を行った。大掃除ではふだんできない遊具を洗ったり、食事室の床掃除やいすの掃除をした。畳コーナーや床の拭き掃除を毎朝実施した。子ども用トイレと食事室は、食事のあとに汚れているときがあるので、まめに点検して掃除するように心がけた。
- ・環境測定が毎月1回実施された。室内の気温や湿度など調整した。天候や利用者数によって適温を保つことが難しい。エアコン口から水滴が落ちることがある。冬は乾燥が激しいため、加湿を心がけた。

3) その他の業務

① 安全管理について

- ・事件、事故などが発生した場合に備え、緊急連絡先、連絡方法などを記載したマニュアルを作成、掲示し、迅速な行動がとれるようにした。
- ・事故防止については、様々な探索行動や動きをする子どもの特性を配慮して、乳児と幼児のコーナーの住み分け、施設内の棚の配置の考慮、安全柵設置、遊具の破損チェックによる誤嚥防止など配慮した。
- ・遊具の安全性については、滑り台と大型ソフト積み木の使用については、初めて来所したときに利用者にていねいに説明し、日頃も声をかけ、スタッフが見守るようにした。
- ・ひろば内で起こった事故については迅速に対応し、遅滞なく子育て支援課に報告した(1件)。
- ・子どもがすべり台を動かして倒れたことがあり、スタッフで共有し安全に務めた。
- ・夏は猛暑だったので、熱中症についての注意を掲示し、夏の過ごし方を講座で伝えるようにした。
- ・避難訓練：災害に備え定期的に避難訓練を行い、利用者と共に、非常時の対応を考える機会となった。避難場所の確認や避難袋の中身についても利用者と共有した。今年度は利用者を実施することを周知して、3回実施した。3/8は もりんぴあこうづの消防訓練に、利用者とスタッフが参加した。日常のひろばでは、地震発生時に利用者に安心するよう声をかけ、安全確認をするようにした。

*実施日と参加数：6/26(火)20組、9/10(月)17組、3/8(金)9組

② 苦情・意見等の受付について：3件あり、内容と対応状況は下記の通り。

- ー大人のトイレにしみがある。尿しみだと思う。→ しみを確認してふき取るようにした。
- ートイレにスリッパを置いてほしい。→ スリッパは不衛生なこともあり、検討中。
- ー荷物棚の上に荷物を置くと、ベビーベッドに落下する危険がある。→ ベッドを移動した。

<会議・研修等実施内容>

1) 会議

- ・スタッフ会議 (なかよしひろば職員)： 毎月第2金曜日に、利用者対応、課題あるケース、講座計画、ふりかえりなど、ひろば運営について話し合い共有した。利用者との対応について、ご意見や課題があったときはロールプレイを行うなど、ミニ研修を取り入れた。1～3月は会議を2回実施し、年間のふりかえりと次年度の企画と準備を行った。計15回実施。

・もりんぴあ関係者4者会議： 毎月第4木曜日に、アクティオ・市民協働課・公津の杜図書館・子育て支援課・ひろば担当者が集まり、施設管理や運営、各所のイベントなどについて共有した。アクティオとは日々やりとりし、施設の安全管理と清掃についての連携がはかれた。(伊藤・島田) 計12回実施。

・その他

- ー視察
 - ・成田市役所新人職員
 - ・佐倉市教育委員会社会教育課
 - ・千葉市ちはら台公民館28人
 - ・富里市子育て支援課 子ども子育てコンシェルジュ
 - ・赤萩保育園加藤先生 8月支援センター視察研修打合せ
 - ・北区職員10名

ー連携機関関連

- ・ひろば3館ミーティング
- 5/10 健康増進課・発達支援センター・ファミリーサポートセンター 出席(伊藤・島田)
- 9/8 ファミリーサポート講座について報告、遊具の消毒のしかたなど共有(伊藤・松原)
- ・ひろばのクリスマス会にサンタクロースの役を依頼。子育て支援課2名
- ・12/10 より 子育て支援のニーズ調査アンケート

ー託児支援活動 イスラエルから短期滞在中の親子の0歳児をひろばで託児した。(松島・藤見)

2) 研修

基本的な支援者の姿勢を身につける研修、家族援助のための知識の習得、子育て支援に必要なスキルの研修を継続的に行うため、内部研修の実施、外部研修への参加を進めた。今年度は成田市のなかよしひろば、病児保育の保育士とファミリーサポートのコーディネーターの方と合同研修を行った。

- ・4/28 パネルシアター研修(松原・尾野・林)
- ・5/12、13 日本保育学会(宮城)(伊藤・島田・谷口・青柳) ママ活動(ハト・ベル、コーラス)の実践報告
- ・5/13 ひろば全協 子育て支援士2種(田中・松島)
- ・5/14 子育て支援員研修(早矢仕)
- ・6/14 乳児期に伸ばしたい非認知能力(伊藤・川島)
- ・6/19 どならない子育て練習講座(上野)
- ・6/25 ひろばスタッフ研修「地域を知る」

午前：発達支援センター、
健康増進課・成田市子育て世代包括支援センター、
ファミリーサポートセンター、子育て支援課 見学
午後：さくらの山



- ・6/28、7/3 ビジー・ビー 子育て支援サポーター養成講座(田中・松島)
- ・7/16 BP研修(島田)
- ・7/26 児童虐待の早期発見と初期対応(笠井・和田)
- ・7/31 簡単シアター(尾野)
- ・8/8 地域子育て支援拠点施設担当者研修会(竹田・林)
- ・8/9 2歳児の音遊び、リズム遊び(川島)
- ・8/10、11 幼児造形教育研究会(島田)
- ・8/19 永田陽子先生 支援者研修(斉藤・松原)
- ・8/21～28 海外視察 スウェーデン、フィンランドの保育、子育て(伊藤)
- ・9/7 ひろば全協会員ブロック別交流会 in 千葉(松原・川島)
- ・9/11 子育て支援担当者研修会(視察研修)(尾野・林・竹田)
- ・9/22 乳幼児メディアアドバイザー講座(島田)
- ・9/29、30 乳幼児精神保健学会(旭川)(伊藤・和田)
- ・11/17、18 ひろば全協全国セミナーin 岐阜(島田)
- ・11/30、12/1 日本虐待防止学会 in 岡山(佐藤先生・伊藤・島田)
- ・11/26 3ひろば合同研修 永田陽子先生 保育者支援力スキルアップ研修(スタッフ全員)
- ・成田国際高校命の赤ちゃんふれあい授業見学
11/12(上野・佐藤) 11/21(松原・尾野・竹田) 11/22((笠井・林)
- ・ちばNPの会 千葉県でNP講座を開催するFaの情報交流。3ヶ月に1度開催。(伊藤・島田・松原)

2 産褥期の親のサポート事業

2. 1 産前産後サポート「カンガルークラブ」

妊婦やおおむね生後6ヶ月までの乳児がいる家庭を対象に、自宅を訪問してサポートを行った。双子の入浴介助、新生児検診の付き添いのほか、産後体調が戻らない中で保育園説明会に出かける方やつわりが重い方からの依頼など、多様な活動があった。サポート内容や利用方法に関して気兼ねな問い合わせが増えた。電話での問い合わせ時に現在の状況をよく聞くことで、利用者側も必要なサポートが整理されるようになり、訪問説明を受けても利用につながらないということが少なくなった。問合せのなかで、産後の赤ちゃんとの生活のイメージがわからないという妊婦さんには、親子つどいの広場に来てもらった。赤ちゃんのママと実際に話すことで、産後の見通しが立ったようで、依頼はなくなった。

サポートの中で気にかかる親子に出会ったときは、保健センターへ連絡を取り、地区担当の保健師やファミリー・サポート協力者などと親子の状況を確認し合いながらサポートした。週末など行政時間外の連絡先として、カンガルーサポート(ビジー・ビー)で相談される方が数件あった。

○カンガルーママさん研修：2/27(水) シェアスペースにわにわ 10名参加

・午前：主旨とシステムの説明 …伊藤、花蜜

産前産後のこころとからだ、出産の現状 …助産師 佐藤美奈子先生

・午後：訪問の流れ(ロールプレイ)、沐浴実習

午前は講義での学びを踏まえて、援助の必要性や母親に寄り添うサポートについて話しあった。

午後は実際の訪問や活動に即した実習とロールプレイを行った。スタッフからの質問を交えながら話しあい、課題解決に努めた。新規受講者から「出会いを楽しみにしていきたい」という意気込みが聞かれる講座になった。

＜カンガルーサポート＞

地区	入会	出産月等	担当	依頼内容	活動回数	
南八幡	2018年2月	4月第2子	藤城、塩路	年末片付け時の見守り	12月3回	※1
本中山	3月	8月第2子	花蜜	家事	10～11月3回	※1 船橋
行徳駅前	4月	5月第2子	寺内、森元、徳安	上の子の送迎(電車)	6～9月6回	※1
南八幡	4月	2月第1子	花蜜、藤城、小林	家事、お話し	5月4回、7月2回	※1※2
宮久保	6月	6月第2子	花蜜	健診同行、家事	7～8月3回	
南八幡	7月	4月第2・3子	花蜜、塩路、藤城	双子の沐浴介助	7～11月13回	※2
南八幡	10月	12月第2子	花蜜	家事、上の子外遊び	10～11月3回、 1月1回	※1
相之川	11月	6月第2子	寺内、徳安、櫻井	家事、上の子の遊び	11～2月10回	※2
鬼高	12月	9月第1子	花蜜、内山、藤城	母休息中の見守り	12～1月9回、	※1
柏井	2019年2月	5月第2子	花蜜	買物等	2～3月3回、 4月1回	第1子 カンガルー利用

※1 産後ホームヘルプ利用 ※2 ファミリー・サポート利用

2. 2 子育て支援サポーター養成講座

(1) 子育て支援サポーター養成講座

- ー6/28(木)午前 「支援者のこころ 命に寄り添う」川副孝夫先生(風の谷保育園 園長)
全日警ホール会議室 参加8名
 - ー7/ 3(火)午前 「子育ての現状と支援者の役割」伊藤雅子
シェアスペースにわにわ 参加9名
- 参加者は全員、新井・八幡親子つどいの広場、公津の杜なかよしひろばで、スタッフやボランティアとして活動を始めた。

(2) ステップアップ研修 今年度は開催していない。

(3) 外部研修

- ー5/24(日)タウンミーティング「市川市の子育て支援について 課題と対策」村越市長
行徳公民館 1名
- ー6/1(金)保育施設職員研修「今求められる災害への備えを学ぶ」天野珠路氏 5名
保育指針に沿った避難計画と行動、パターン(火事・地震、朝・午後など)を変えた訓練 など
- ー6/12(火)「Line を使った妊娠期～産後2年までの子育て支援・・・遠隔健康医療相談サービス」
山口病院 1名
- ー9/11(火)、9/25(火)、10/15(月)「ペアレント・トレーニング トレーナー養成講座」
「子育て維新の機中『八策士』養成講座」渡邊直氏 1名
- ー11/26(月)「保護者支援力スキルアップ研修 ～傾聴する力&気になる保護者への対応する力～」
永田陽子氏 もりんぴあこうづ 8名
- ー11/27(火)「我が国における発達障害の現状と課題」大阪大 片山泰一氏 全日警ホール 1名
- ー2/16(土)市川市H30年度児童虐待防止講演会 齊藤万比古氏 全日警ホール
「不登校 思春期の特性や背景にある発達障害・児童虐待の影響」 1名
- ー保健推進員研修 市川市保健センター・南行徳保健センター 6名

3 子育て支援のネットワーク事業

3. 1 託児支援

月1回シェアスペースにわにわでのヨガサークルの同室託児を行った。今年度は子どもの人数が多く、スタッフ2人体制となった。市内外の団体からの要請で託児を行ったほか、今年も国際医療福祉大学「潜在看護師研修」託児を行った。松戸市の「まちづくりキーパーソン養成講座」託児を通して、松戸市の市民活動団体との交流を図った。

- ーまちづくりキーパーソン養成講座：5/27(日)まつど市民活動サポートセンター 保育者2名、子ども3名
- ー市川子ども文化ステーション総会：6/10(日)13-16時、勤労福祉センター、保育者3名、学生1名、子ども9名
- ー市民ミュージカル託児：6/3(日)～9/16(月)・17(日祝) 本番公演まで毎週土日28回、
勤労福祉センター、全日警ホール、市川駅南公民館、南行徳公民館、大洲地域ふれあい館、
保育者28名・公演時6名、子ども57名・公演時7名
- ーまつどみらい会議：12/2(日)10-16時、まつど市民活動サポートセンター 保育者2名、子ども2名

- ー市川子ども文化ステーション公演託児：2/11(月祝)18-19：30 市川文化会館 保育者2名、1～3歳3名
- ー国際医療福祉大 潜在看護師研修託児：2/5、12、19、26(火)10-15時 国際医療福祉大成田キャンパス
保育者各2名、1歳児4名

3. 2 電子媒体広報・通信発行

(1) 電子媒体広報

ブログ、Facebook、いちかわっこwebで、みつばちっこを中心とした活動の様子や写真、次回のお知らせ等を更新した。ホームページに通信や各サロンのちらしを掲載した。また定款変更に伴い、総会資料および貸借対照表の掲載ページを追加した。

(2) 通信発行

季刊としてVol.76号から79号を発行した。各号をホームページに掲載し、各事業を通じて利用者や関係機関、会員に配布した。

3. 3 子育て支援団体交流

- ー奇数月第2土曜 勤労福祉センター「ボランティア協会運営委員会」 団体紹介、活動紹介
- ー地域ケアシステム推進連絡会 菅野・須和田地区、信篤・二俣地区、行徳地区
- ー5/25(金)、26(土)「子育て応援メッセ in いちかわ」コルトンホール
4/13、5/11 実行委員会、八幡広場スタッフによる活動紹介と総合案内
- ー6/17(日)「ハッピーマタニティフェスタ in 行徳」行徳文化ホール I&I 会議室
4/27、6/8 実行委員会、ミニ親子つどいの広場体験
- ー7/8(日)「ハッピーライフ&キャリアフェスタ in いちかわ」コルトンホール
3/14、4/16 実行委員会、子育て支援情報、託児支援、職場としての団体紹介
- ー9/2(日)「ハッピーマタニティフェスタ in いちかわ」コルトンホール
6/29、8/24 実行委員会、総合案内等
- ー11/9(金)「子育て交差点」行徳文化ホール I&I
9/14、10/12 実行委員会、新井広場スタッフによる活動紹介、ミニ広場
- ー12/7(金)いちかわ子育てネットワーク「つながる勉強会」教育会館 5名
「訪問支援の現状と課題 外出しにくい子育て家庭へのサポート検討に向けて」
- ー和洋女子大学保育実習 6月3名
- ー国際医療福祉大学成田看護学部 地域育児支援実習：公津の杜なかよしひろば：8/1-12/9 62名
- ー了徳寺大学健康科学部看護学科 小児看護学「地域の子どもの環境を知るフィールドワーク実習」：
9/25-3/5 94名

3. 4 その他

- 理事会：5/22(火) 2018年度事業・体制等の確認
12/6(木) 2018年度前期報告
3/21(木祝)2018年度後期報告
5/20(月) 2019年度事業・体制等の確認
- 会議：コーディネーター会議、事務局会議 毎月各1回開催